

令和元年度 中学校「学習指導・評価計画表」教科【数学】学年【1年】担当者 福井 秀訓

関 数学への关心・意欲・態度
 見 数学的な見方や考え方
 技 数学的な技能
 知 数量や图形などについての知識・理解

月	単元材	学習内容	観点	評価規準(B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
4・5月	1章 正の数・負の数	□0より小さい数	関 見 技	・正の数と負の数の必要性と意味、その計算の仕方を考えたりすることに関心をもち、正の数と負の数を用いて、身の回りの様々な事象や状況を表したり、処理したり、計算したりしようとしている。	・正の数と負の数の必要性と意味、その計算の仕方を考えたりすることに関心をもち、正の数と負の数を用いて、自ら進んで身の回りの様々な事象や状況を表したり、効率よく処理したり、計算したりしようとしている。またそのよさを理解している。	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
		□正の数・負の数で量を表すこと		・正の数と負の数が使われている具体的な場面を見いだし、どのように用いられているのか考えたり、計算の仕方を見いだすことができる。	・正の数と負の数が使われている具体的な場面を自ら進んで見いだし、どのように用いられているのか考えたりすることができる。手際よく計算する仕方を見いだすことができ、説明できる。	
		□絶対値と数の大小		・数を正の数と負の数にまで拡張し、加法と減法を統一的にみたり、四則計算の可能性についてとらえ直すことができる。	・数を正の数と負の数にまで拡張し、加法と減法を統一的にみたり、四則計算の可能性についてとらえ直すことができ、説明ができる。	
		□正の数・負の数の加法、減法		・正の数と負の数を用いて、身の回りの様々な事象を表したり処理したりすることができる。	・正の数と負の数の大小関係を表したり四則計算ができるとともに、加法と減法の混じった式を正の項や負の項の和として表すことができる。	
		□加法と減法の混じった計算		・正の数と負の数を用いて、身の回りの様々な事象を表したり処理したりすることができる。	・正の数と負の数の大小関係を表したり四則計算ができるとともに、加法と減法の混じった式を正の項や負の項の和として表すことができる。	
		□正の数・負の数の乗法、除法	知	・自然数や整数、正の数と負の数の必要性、大小関係、符号、絶対値や四則計算の仕方を理解している。	・自然数や整数、正の数と負の数の必要性、大小関係、符号、絶対値や四則計算の仕方を理解し、説明ができる。	
		□乗法と除法の混じった計算		・数を正の数と負の数にまで拡張することによって、加法と減法を統一的にみることができることを理解している。	・数を正の数と負の数にまで拡張することによって、加法と減法を統一的にみることができることを理解し説明できる。	
		□いろいろな計算		・自然数や整数、正の数と負の数の必要性、大小関係、符号、絶対値や四則計算の仕方を理解し、説明ができる。	・自然数や整数、正の数と負の数の必要性、大小関係、符号、絶対値や四則計算の仕方を理解し、説明ができる。	
		□数の世界のひろがりと四則計算		・数を正の数と負の数にまで拡張することによって、加法と減法を統一的にみることができることを理解している。	・数を正の数と負の数にまで拡張することによって、加法と減法を統一的にみることができることを理解し説明できる。	
		□正の数・負の数の利用		・数を正の数と負の数にまで拡張することによって、加法と減法を統一的にみることができることを理解している。	・数を正の数と負の数にまで拡張することによって、加法と減法を統一的にみることができることを理解し説明できる。	
		□素数の積で表すこと		・素数の意味などを理解している。	・素数の意味などを理解し説明できる。	
6・7月	2章 文字の式		関 見 技	・文字を用いることや、文字を用いた式を計算したり、活用したりすることに関心をもち、文字を用いて数量やその関係を式に表したり、その意味を読みとったりしようとしている。	・文字を用いることや、文字を用いた式を計算したり、活用したりすることに関心を持ち、そのよさを理解し説明できる。進んで文字を用いて数量やその関係を式に表したり、その意味を読みとったりしようとしている。	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
		□数量を文字で表すこと		・数量の関係や法則などを文字を用いた等式や不等式などでどのように表すのか、式が何を意味しているのかを考えることができる。	・数量の関係や法則などを文字を用いた等式や不等式などでどのように表すのか、式が何を意味しているのかを意欲的に考えることができる。説明できる。	
		□文字式の表し方		・一次式の加法と減法の計算方法を具体的な数の計算や日常生活の場面と関連付けて考えることができる。	・一次式の加法と減法の計算方法を具体的な数の計算や日常生活の場面と進んで関連付けて考えることができ、そのよさを理解し説明できる。	
		□式の値		・数量の関係や法則などを文字を用いて等式や不等式に表したり、式の意味を読みとったりすることができれる。	・数量の関係や法則などを文字を用いて等式や不等式に手際よく表したり、式の意味を読みとったりすることができ、説明できる。	
		□文字式の加法、減法		・文字を用いた式の乗法と除法をそのままの式に従つて表したり、簡単な一次式の加法と減法の計算をしたり、式の値を求めることができる。	・文字を用いた式の乗法と除法をそのままの式に従つて表したり、的確に手際よく簡単な一次式の加法と減法の計算をしたり、式の値を求めることができる。	
		□文字式と数の乗法、除法	知	・文字を用いることの必要性、項や係数の意味などを理解している。	・文字を用いることの必要性、項や係数の意味などを十分理解し、説明できる。	
		□関係を表す式		・文字を用いた式における乗法と除法の表し方や、一次式の加法と減法における項のまとめ方を理解している。	・文字を用いた式における乗法と除法の表し方や、一次式の加法と減法における項のまとめ方を十分理解し、説明できる。	
				・文字式は、操作方法と結果の両面を表し、等号は計算過程と相当関係の両面を表すことを理解している。	・文字式は、操作方法と結果の両面を表し、等号は計算過程と相当関係の両面を表すことを十分理解し、説明できる。	
				・方程式の必要性とその意味を考えたり、活用したりすることに関心をもち、一元一次方程式を解こうしたり、問題の解決に生かそうとしている。	・方程式の必要性とその意味を考えたり、活用したりすることに関心をもち、そのよさを理解している。一元一次方程式を進んで解こうしたり、問題の解決に生かそうとしている。	
				・等式の性質を基にして、移項してよい理由を考えたり、一元一次方程式の解き方を考えることができる。	・等式の性質を基にして、移項してよい理由を考えたり、一元一次方程式の解き方を進んで考えることができ、説明できる。	
8・9月	3章 方程式	□方程式とその解	見	・具体的な事象の中の数量の関係をとらえ、一元一次方程式をつくることができる。	・具体的な事象の中の数量の関係をとらえ、進んで一元一次方程式をつくることができ、説明できる。	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
		□方程式の解き方		・方程式の解や解決の方法が適切であるかどうか振り返って考えることができる。	・方程式の解や解決の方法が適切であるかどうか振り返って考えることができ、説明できる。	
		□比と比例式		・簡単な一元一次方程式を解くことができる。	・簡単な比例式を解くことができる。	
		□方程式の利用	技	・簡単な一元一次方程式を代入して、その数が解であるかどうかを確かめることができる。	・簡単な一元一次方程式を手際よく、効率的に解くことができる。	
		□比例式の利用		・簡単な比例式を解くことができる。	・簡単な比例式を手際よく解くことができる。	
				・一元一次方程式及びその中の文字や解の意味、等式の性質や移項の関係を理解している。	・一元一次方程式及びその中の文字や解の意味、等式の性質や移項の関係を理解し、説明できる。	